



エコ・そうか

■ 人と自然が共に生きるまち そうか ■

10月5日号

2018/平成30年

発行 草加市市民生活部環境課
〒340-8550
草加市高砂1-1-1
☎ 048-922-0151(代表)
環境推進係 922-1519
公害対策係 922-1520
FAX 048-922-1030

LED照明で家庭にも環境にもやさしい暮らしを

今夏は熊谷市で41.1℃と日本最高気温が更新されるほどの酷暑、西日本では未曾有の集中豪雨、さらに台風の西進など、これまでにない異常気象に見舞われています。これらの背景には、地球温暖化の影響があると考えられています。地球温暖化を防止するために、私たちは何ができるでしょうか。

増加する温室効果ガス

地球温暖化の原因は主に二酸化炭素などの温室効果ガスといわれています。二酸化炭素排出量は、産業部門などでは省エネが進み、年々減少傾向にある一方、生活の利便性が増したことで、家庭部門からの二酸化炭素排出量はむしろ増加傾向にあります。平成28年度の家庭から排出された二酸化炭素は1世帯当たり年間約4,520kgであり、その中でも電気の使用によるものがおよそ半分を占めています(図1)。電気による温室効果ガスを削減するためには、再生可能エネルギーの活用のほか、電気使用量を削減する必要があります。とはいえ、気候変動の激しい中、健康で文化的な生活を過ごすためには、節電だけに頼るのには限界があります。

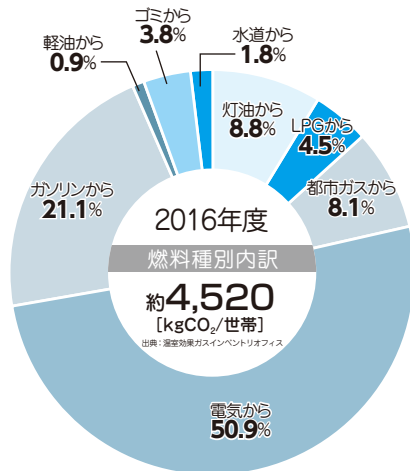


図1 家庭からの二酸化炭素排出量
出典：国立環境研究所温室効果ガスインベントリオフィスのデータをもとに作成

家庭の照明を替えてエコでお得に

家庭の電気使用量で上位を占めるのは、冷蔵庫・照明・テレビ・エアコンです。冷蔵庫・テレビ・エアコンの買い替えの際には、高効率機器にすると、省エネ効果が上がります。また、照明は毎日の生活に欠かせないものですが、家庭の電気使用量全体の13.4%を占めています(図2)。照明の電気使用量を減らせば、地球温暖化対策にも、お財布にも効果的です。照明をこまめに消すことも対策の一つですが、普段使っている照明をLED照明に変えることが、最も効果的で簡単な取り組みです。

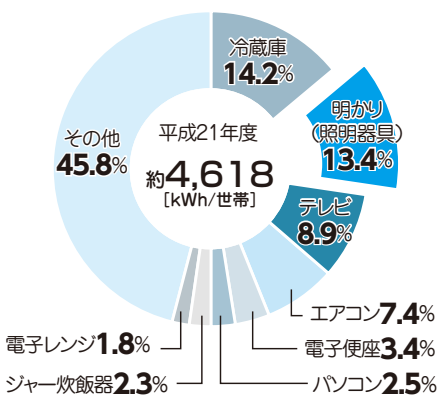
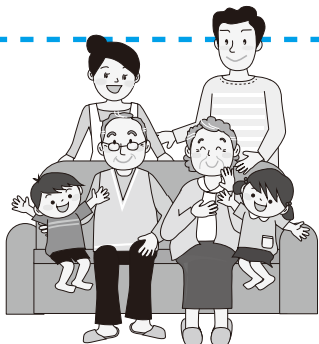


図2 1世帯あたりの電気使用量の内訳
出典：資源エネルギー庁HPをもとに作成

LED照明を購入する際の注意

今まで使っていた照明器具からLED照明に交換する際、器具とLEDランプ等の誤った組合せによって、点灯しなかったり、寿命が短くなったりするだけでなく、火災が発生する危険があります。また、埋め込み式や直管形の場合は工事が必要になる場合があります。交換の際には必ず販売店に相談してください。



LED照明はすごい！

電球形のLEDランプの消費電力は、同じ明るさの一般電球(白熱電球)と比べ、消費電力はおよそ6分の1(図3)。消費電力が下がれば、その分電気代もお得になります。LEDランプの寿命は電球の約40倍、蛍光灯の約3倍と長寿命ですので、買い替えや交換の手間を少なくすることができます(図4)。さらに、ON・OFFの繰り返しに強く寿命に影響しない、紫外線をほとんど含まないため物を傷めにくい、虫を呼びにくい等のメリットがあります。LED照明は、蛍光灯に比べ明る過ぎると感じやすいので、調光器や明るさセンサー付きのものをおすすめします。

ご自宅の照明の点検・見直しを行い、LED照明への交換を検討してみてください。

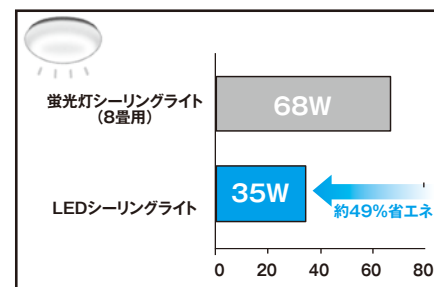
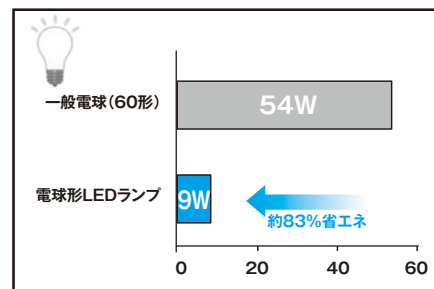


図3 消費電力の比較
出典：資源エネルギー庁HPをもとに作成

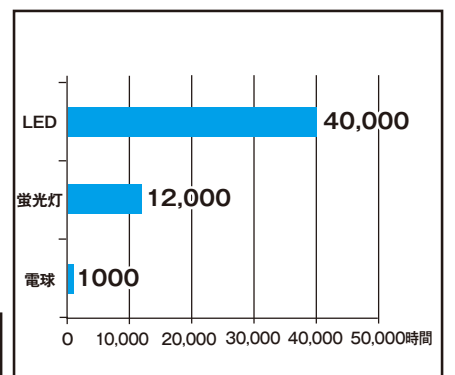
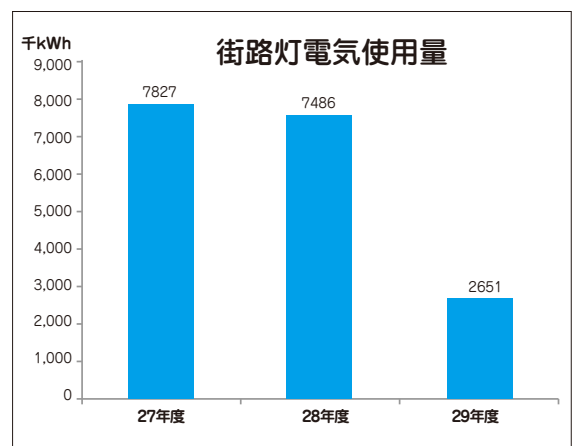


図4 照明の寿命の比較
出典：資源エネルギー庁HPをもとに作成



トピック 街路灯をLED化しました

本市は、平成29年度までに市内の街路灯17,788基(全体の99%)をLED化しました。街路灯の電気使用量は、前年度の約65%削減することができました。これを二酸化炭素排出量に換算すると、約2,200トン削減した計算になります。



主な内容



- | | | | |
|--------------------------|------|------------------------|---|
| ●LED照明で家庭にも環境にもやさしい暮らしを | 1 | ●業務用エアコン・冷凍冷蔵機器をお持ちの方へ | 4 |
| ●平成29年度第二次草加市環境基本計画の取組状況 | 2, 3 | ●そうか生きもの調査員を募集中 | 4 |
| ●そうか環境とくらしフェア2018を開催します | 4 | ●そうか公園でかいぼりを実施しました | 4 |
| ●地球温暖化防止活動補助金 受付中 | 4 | ●草加環境推進協議会会員を募集 | 4 |
| ●県の浄化槽転用雨水貯留施設設置費の補助金 | 4 | | |

平成29年度第二次草加市環境基本計画の取組状況

第二次草加市環境基本計画は、本市がめざす「人と自然が共に生きるまち そうか」の実現に向けた環境分野における総合計画で、草加市環境基本条例第8条に基づき策定しています。平成12年に策定した前計画を全面的に見直しを行い、平成28年3月に新たに策定したものです。今日の多岐にわたる環境問題の解決に向けた様々な取り組みについてお知らせします。

環境像

環境目標

人と自然が共に生きるまち そうか

水環境の保全と創造

身近な自然の保全と創造

低炭素社会の推進

生活環境の保全

環境に配慮した行動の実践と拡大

計画期間

平成28年度から平成47年度（2035年度）までの20年間
計画期間が長期にわたるため、4年ごとに見直しを行います。

推進主体

「人と自然が共に生きるまち そうか」の実現に向け、市民、事業者、市のそれぞれが自主的な活動に加えて、三者が協働しながら推進を図ります。

環境目標1

水環境の保全と創造～水と共生するまちを創ろう～

環境目標2

身近な自然の保全と創造～生きものと共生するまちを創ろう～

環境目標3

低炭素社会の推進～地域と地球に優しいまちを創ろう～

環境目標4

生活環境の保全～安心して快適なまちを創ろう～

環境目標5

環境に配慮した行動の実践と拡大
～環境に配慮した行動を実践しよう～

草加市環境基本計画

達成目標に対する平成29年度実績

：目標値達成

目 標 環 境	指 標	単位	基準値 平成26年度	平成28年度	平成29年度	目標値 平成31年度(2019年度)
水環境の保全と創造	河川の水質(BOD75%値)					
	綾瀬川(中曽根橋)	mg／L	3.6	3.9	3.1	3.4mg／L
	綾瀬川(手代橋)	mg／L	3.5	4.1	3.2	3.3mg／L
	古綾瀬川(綾瀬川合流点前)	mg／L	4.4	3.7	4.2	4.2mg／L
	伝右川(伝右橋下)	mg／L	2.9	3.2	3.0	2.7mg／L
	毛長川(鷺宮橋)	mg／L	2.5	2.9	2.8	2.3mg／L
	辰井川(上町境橋)	mg／L	3.6	4.0	3.9	3.4mg／L
身近な自然の保全と創造	河川異常水質事故件数※1	件	22	20	18	18件
	古綾瀬自然ひろばで確認された鳥類の種数	種	――	29	24	27種
	公園・広場等の面積	ha	52.82	57.68	57.69	53.14ha
低炭素社会の推進	緑化推進団体の数	団体	40	42	44	45団体
	市内から排出される温室効果ガス排出量 (平成17年度(2005年)比)	千t－CO ₂	1,327	1,262	1,212	1,050千t－CO ₂ (22%削減)
	太陽光発電システムの年間発電量	MWh	10,308	――	――	14,000MWh
	市民1人1日当たりの可燃ごみの排出量	g	523	508	504	504g
生活環境の保全	資源化率※2	%	20.0	19.3	18.7	21.7%
	大気、騒音・振動、ダイオキシン類の環境基準達成割合	%	84.6	60.7	89.3	92%
	まちなみの美しさに対する市民の満足度※3	%	12.7	38.2	――	20%
環境に配慮した行動の実践と拡大	市内4駅周辺における屋間の放置自転車数	台	105	63	66	65台
	エコライフデイへ取り組む市民の数	人	71,655	66,554	70,974	73,000人
	草加環境推進協議会との協働によるイベント等の参加者の満足度	%	――	68.0	79.5	90%

※1 河川異常水質事故：着色水、油の流出、魚の異常死などの河川等で発生した水質事故
※2 資源化率：家庭から出た「ごみ」のうち、新たに再生資源として生まれ変わった割合
※3 市民アンケートによる回答割合
※4 ―― は、データなし

水環境の保全と創造

本市のシンボルである綾瀬川をはじめとする河川の水質浄化や親水空間の創造など、水環境の改善を図り、水とみどりを生かしたまちづくりを推進していきます。



●綾瀬川再生21事業

綾瀬川の水質は大幅に改善され、多くの生きものが戻ってきました。この成果を広く市民の皆様にお知らせし、さらなる水質改善を目指すため、市民団体との協働により、草加ふささら祭りに併せ、啓発ブースによる展示やEポート乗船体験などを実施しました。

生活環境の保全

公害問題の解決と防止に取り組み、公害のない安心なまちと快適な街並みの形成を目指します。

●公害防止対策の推進

昨年11月に八潮市内の工場から本市の古綾瀬川に有害物質が流入するという河川水質事故が発生し、魚類等に大きな影響を及ぼしました。同様の事故が再び発生することのないよう市内の工場には事故防止を周知しました。引き続き、公害防止のための定期的な監視を行うとともに、国や県、近隣自治体との連携を図ります。

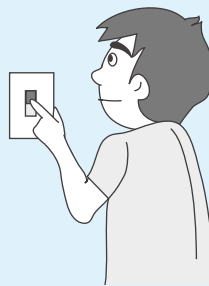


環境に配慮した行動の実践と拡大

市民一人ひとりが環境問題について学び、考え、環境にやさしい行動を積極的に実践します。

●エコライフデいの推進

エコライフデいは家庭からの二酸化炭素排出量を削減するため、省エネ・省資源など、環境に配慮した生活を1日実践する取り組みです。地球温暖化防止につながる活動のきっかけとなるよう、学校、市民等に取り組みを呼びかけ、70,974人が取り組みに参加し、66,632kgの二酸化炭素を削減しました。



身近な自然の保全と創造

市内に残された「自然」である河川や屋敷林などのみどりを守り、生きものの生息空間として、あるいは、自然に親しむ場所として活用していきます。

●生きもの調査

市内に生息・生育する動植物について学びながら、残された自然を守るため、生きもの調査を行っています。市民参加による調査を6回実施しました。



重点プロジェクトの実施状況

本計画で、とくに重点的に取り組むべき施策を設定し、市民・事業者等と連携しながら取り組みを推進しています。

●そうかエコタウンプロジェクトの推進

谷塚駅西口地域が埼玉県から埼玉エコタウンプロジェクト展開エコタウンとして選定されたことから、事業を実施しました。重点実施街区として既存住宅をスマートハウス化したほか、市独自の事業として自立型避難誘導灯や遮熱塗装の自転車通行帯の設置などを行いました。



低炭素社会の推進

大量消費、大量廃棄の社会システムを見直し、エネルギー消費が最小限に抑えられ、温室効果ガスの排出が抑制された低炭素社会を構築していきます。

●街なか緑化の推進

夏場の街なかにはうるおいを与え、さらにエアコンの使用を減らし省エネと地球温暖化防止のため、グリーンカーテン設置を呼びかけています。グリーンカーテンづくりに適しているゴーヤの苗を市民団体とともに市民に配布しました。



そうか環境とくらしフェア 2018を開催します

「未来の子どもたちのために私たちが
ができること」をテーマに、そうか環
境とくらしフェア 2018 を開催します。
環境問題や消費生活に関する展示、
そうかの自然と生きもの写真展、こども環境（生物多様性）絵画展、ミ
ニ映画会、プラネタリウム、クイズラリー、工作体験等を行います。

■日 時 平成30年11月17日（土） 11時～16時
■会 場 アコスホールほか
■主 催 そうか環境とくらしフェア実行委員会、草加市
■問合せ そうか環境とくらしフェア実行委員会事務局（環境課内）
☎048-922-1519 FAX048-922-1030



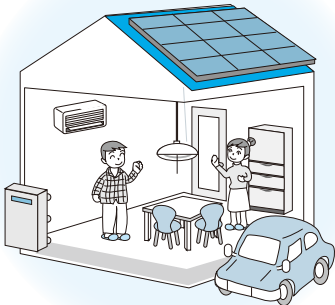
地球温暖化防止 活動補助金 受付中

自然エネルギー等を有効に利用し、環境への負荷の少ない生活様式を
築くため、次の機器等を購入・設置する経費の一部を地球温暖化防止活
動補助金として交付します（申込は平成31年1月31日（木）まで）。

①太陽熱を利用した給湯器 2万円
②地中熱を利用した給湯器 2万円
③家庭用コージェネレーションシステム 2万円
④燃料電池給湯器 2万円
⑤HEMS 1万円
⑥家庭用蓄電池 2万円
⑦次世代自動車 2万円
⑧雨水貯留施設設置
要した費用の1/2で限度額 1万円
⑨太陽光発電システムの設置（1kWあたり1.5万円※限度額10.5万円）
※2kW未満の小規模太陽光発電設備設置に2万円加算（埼玉県の特
定実証事業への協力が必要）
※大規模災害時に近隣住人への携帯電話等の充電に協力する宣言に
より1万円加算

・重複申請可能、購入・設置をする前に環境課へ申請を。
・平成31年3月31日までに完成するもの
・店舗や事業等で使用するものは対象外
詳しくはホームページをご覧ください！

■申込・問合せ 環境課 ☎048-922-1519 FAX048-922-1030
ホームページ <http://www.city.soka.saitama.jp/>



県の浄化槽転用雨水貯留施設 設置費の補助金

綾瀬川・中川の水質改善対策のため、公共下水道に接続する際に
不要となる単独浄化槽を転用し、雨水貯留槽に改造する場合、市の
補助と合わせて埼玉県から最大10万円の補助があります。

■問合せ 埼玉県水環境課水環境担当 ☎048-830-3081

業務用エアコン・冷凍冷蔵機器 をお持ちの方へ

業務用エアコンや業務用冷凍冷蔵機器の所有者は、フロン排出抑制
法により定期的にフロンが漏えいしていないか点検を行わなくてはな
りません。
※詳細は県ホームページをご覧ください（「埼玉県、フロン」で検索）。

■問合せ 埼玉県大気環境課 ☎048-830-3058

そうか生きもの調査員を募集中

君も生きもの調査員になろう。市内の身近な場所で調査し見つけた
生きものを毎月報告する個別調査と「生きもの調査会」に参加して調
査を行う集合調査があります。調査員にはバッジと手引き、対象調査
種の見分け方シート等をお渡しします。対象は、小学生以上で市内に
お住まい又は在学・在勤者（親子参加可）。

■申込・問合せ 環境課 ☎048-922-1519 FAX048-922-1030

そうか公園でかいぼりを実施しました

平成29年12月と平成30年5月にそうか公園修景池のかいぼり作業を
行いました。

そうか公園修景池は完成か
ら約30年が経過し、水質悪化
と、外来種の生息も確認され
ていることから、テレビ番組の
協力により、水質の改善と外
来種の駆除を行いました。



<第1弾> ■実 施 日 平成29年12月18日（月）
■実施場所 そうか公園修景池（南側）

<第2弾> ■実 施 日 平成30年5月20日（日）
■実施場所 そうか公園修景池（北側）

そうか公園で確認された主な生きもの

■外来種

ブルーギル、オオクチバス、アメリカザリガニ、アカミミガメ、クサガメ、
フロリダアカハラガメ

■在来種

モツゴ、ヌマチチブ、ヨシノボリ、コシアキトンボ（ヤゴ）、オオヤマト
ンボ（ヤゴ）、シオカラトンボ（ヤゴ）、ウチワヤンマ（ヤゴ）、スッポン、
モクズガニ、イシガメ、ナマズ、ニホンウナギ、ヌマガイ

■問合せ 環境課 ☎048-922-1519 FAX048-922-1030



草加環境推進協議会会員を募集

環境問題の解決に向け、市民・事業者・行政のパートナーシップにより、
「人と自然が共に生きるまち そうか」を実現するための事業を行うこと
を目的として設立されました。草加環境推進協議会では、新規会員、ま
たは、所属団体へ加入を希望される方を募集しています。

所属団体

（順不同）

- | | |
|----------------------------|---|
| ・綾瀬川自然観察同好会 | ・草加市町会連合会 |
| ・綾瀬川の緑を愛する会 | ・草加市ボーイスカウト連絡協議会 |
| ・エコキッズ草加 | ・草加松原ロータリークラブ |
| ・エコ生活ガイド草加 | ・NPO法人うるおい工房村 |
| ・葛西用水美化促進協議会 | ・～CS憩いの仲間～化学物質過敏
症本人とその家族のための情報交
換会 |
| ・毛長川・辰井川の水と緑を守る会 | ・（一社）草加市コミュニティ協議会 |
| ・（公社）埼玉県宅地建物取引業協会
埼玉東支部 | ・草加市クリーンふるさと推進協議会 |
| ・（公社）草加青年会議所 | ・草加市子ども会育成者連絡協議会 |
| ・埼玉県生態系保護協会草加・八潮支部 | ・草加市商店連合事業協同組合 |
| ・柴田科学㈱ | ・草加市東部工業会 |
| ・生活クラブ生協草加支部 | ・草加市南部工業会 |
| ・草加市温暖化対策連絡会 | ・草加商工会議所 |
| ・草加市ガールスカウト連絡協議会 | ・草加八潮工業会 |
| ・草加市すこやかクラブ連合会 | |

※その他個人会員あり

■申込・問合せ 草加環境推進協議会事務局（環境課内）
☎048-922-1519 FAX048-922-1030